

## 当講座の特徴・理念



当講座は 1973 年の本大学開学時に設立され、50 年余りの歴史がある講座です。

当講座では、これらを高いレベルでの実現に向け、一所懸命努力しております。

- ・ 口腔外科・口腔内科特有の疾患（口腔腫瘍、顎顔面外傷、先天奇、口腔粘膜疾患等）の治療、教育、研究、国際貢献
- ・ 医科・歯科連携の促進および有病者歯科治療、ならびにその研究、教育
- ・ 口腔ケアによる各科治療のサポート、および口腔ケアに関する研究、教育

当講座の臨床における基本コンセプトは『From C. to C., with C.』です。一つ目の『C』は Caries（う蝕），二つ目の『C』は Cancer（癌），そして三つ目の『C』は Curiosity（好奇心）を表します。私たちは、う蝕治療から癌治療まで口腔疾患をトータルにサポートできる診療科を目指しており、さらに好奇心を持って疾病治療にあるいは治療方法の開発に臨むという姿勢で日々活動しております。

## 当講座の主な研究と業績



当講座では研究活動にも力を入れており、臨床研究や基礎研究を行っております。これまでに数多くの論文発表、講演発表、ガイドライン作成や著書の執筆を手がけてきました。遂行中の主な研究テーマとして

- ・ 唾液腺がんの分化誘導遺伝子の解析
- ・ 癌浸潤・癌転移のメカニズム
- ・ p53 遺伝情報伝達経路の遺伝子検索による癌個別化診断
- ・ 口腔癌発生母細胞の同定
- ・ 各種歯原性疾患におけるシグナル伝達経路に関連する分子の遺伝子変異
- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大期の歯科口腔外科医療従事者とその家族の抗体検査：臨床的・社会的意義
- ・ 薬剤関連性顎骨壊死に対するテリパラチドの有用性に関する臨床研究
- ・ インプラント治療に関連した骨造成におけるバイオオス・バイオガイドの有用性
- ・ メタゲノムを利用した口腔内細菌叢と感染症原因菌の網羅的解析

等

その他、悪性腫瘍や歯原性腫瘍、口唇・口蓋裂関連や薬剤関連顎骨壊死、口腔ケア、抗血栓療法中の抜歯のガイドラインなど多くの業績を上げています。詳しくは当講座HPを是非ご覧ください。 [当講座のHPへのリンクはこちら！](#)